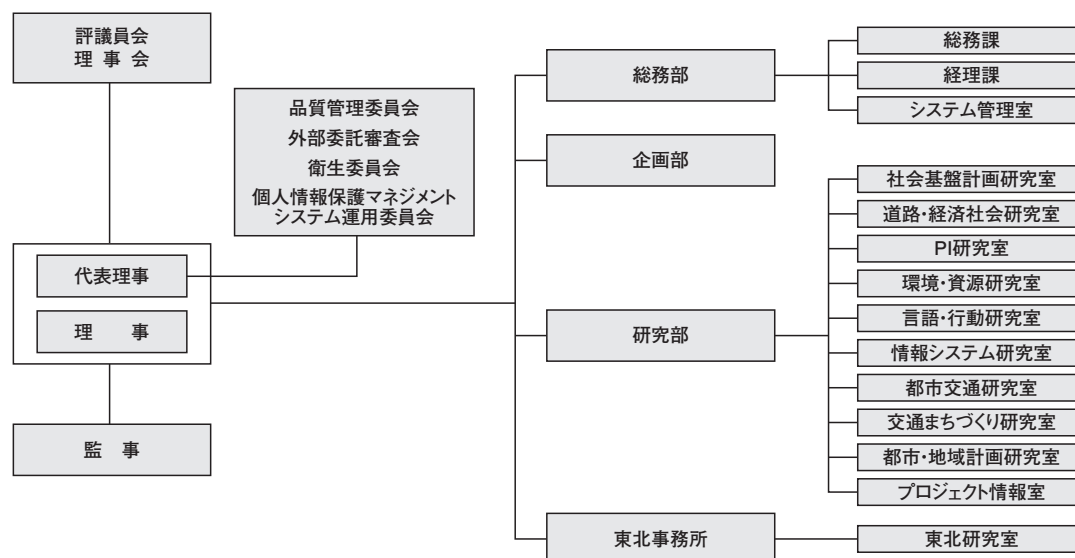


IBS の概要

■概要

名称	一般財団法人 計量計画研究所	
英文名称	The Institute of Behavioral Science (略称 IBS)	
所在地	一般財団法人 計量計画研究所	〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2番9号 代表電話番号 03-3268-9911
	一般財団法人 計量計画研究所東北事務所	〒980-0802 宮城県仙台市青葉区二日町3番10号グランシャリオビル 代表電話番号 022-221-7730
設立年月	1964年7月 財団法人設立 2011年4月 一般財団法人へ移行	
基本財産	1億円	
事業目的	都市・地域、社会基盤、経済・産業、生活・言語・価値意識等の諸分野について、政府・企業等の政策意思決定、計画策定に関する計量的な調査研究を行うとともに、これらに関する情報提供、国際交流、技術開発、知識普及等を図り、もって公益に寄与すること	
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 都市・地域計画に関する調査研究 2. 道路交通計画に関する調査研究 3. 公共交通計画に関する調査研究 4. 地域計画、国土計画に関する調査研究 5. 経済、社会に関する調査研究（社会基盤整備に関する調査研究） 6. 行動計画の統計的手法による調査研究 7. 合意形成プロセスに関する調査研究 8. 環境、資源に関する調査研究 9. 言語情報（コミュニケーション）に関する調査研究 10. 上記1～9に関する調査、計画技術の研究開発 11. 上記1～10に関する事業の受託及びコンサルティング 12. 上記1～10に関する出版事業 13. 内外の調査研究機関等との連絡及び情報交換等の交流事業 14. 研究会、セミナー等の開催による研修事業 15. 調査・統計情報資料等の情報収集及び提供事業 16. その他目的達成に必要な事業 	

■組織図（平成25年6月1日現在）



編集後記

IBS研究活動報告2012 (Annual Report) のⅡ.報告「これからの国土マネジメント」では、人口減少、少子高齢化、地域経済格差等の社会経済情勢の変化に対応した今後の国土や地域のあり方について、IBSの自主研究成果として紹介しています。今後の国土・地域を考えるうえでの参考になれば幸いです。Ⅲ.研究論文においては、東日本大震災をはじめとする災害時の交通実態や今後の防災・減災に向けた社会資本整備・管理の考え方、人口減少・高齢化に対応した今後の大都市圏を中心とする市街地整備のあり方、廃止路線を含めた新たな視点からの都市計画道路の見直しの考え方等、受託業務の成果の一部をとりまとめて報告いたしました。Ⅳ.フェロウシップ最終報告では、福井大学の野嶋先生に、「英国におけるアーバンビレッジの概念とその実態に関する研究」と題して、具体的な事例に基づく地区の都市再生を紹介頂きました。この研究成果は、我が国の都市が抱える多様な課題に対しても、大いに参考になると思います。

Ⅴ.自主研究活動報告では、IBSが自主的に取り組んでいる研究の一部を紹介させて頂きました。まだまだ、研究途上のもものありますが、上記の研究論文を含め、広く公表し、皆様のお役に立てるように努めていきます。また、今後、大きく変化し、複雑化する社会経済情勢や政治情勢、国民の意思等を踏まえて、国、地方自治体、ならびに民家企業の活動を支えるシンクタンクとして、最大限の努力を行っていく所存です。引き続き、ご指導、ご鞭撻をいただければ幸いです。

なお、計量計画研究所 (IBS) の活動、業務実績等については、以下のHPより、参照できますので、是非、ご覧ください。

一般財団法人 計量計画研究所 (IBS) ホームページ：<http://www.ibs.or.jp/>

編集委員

委員長	毛利 雄一	(企画部 部長)
委員	牧村 和彦	(企画部 次長)
	谷貝 等	(総務部)
	町田 美砂子	(企画部)

IBS Annual Report 研究活動報告 2012

発行日 2013年7月31日

発行責任者 一般財団法人 計量計画研究所
The Institute Behavioral Science

代表理事 黒川 洸

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2番9号

TEL 03-3268-9911 (代表)

印刷所 ニッセイエブロ株式会社
